

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型発達支援 そらぼし (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にしている。	個室が3部屋あり、活動のごとに部屋を分けて使用している。クールダウンなどお子さんの状態に合わせて利用している。個別療育、集団療育と状況に合わせたサービスの提供が出来ている。	構造化とスケジュールを合わせた展開を実施していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がある。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援をしている。	保護者参観日や茶話会を実施した。これまでの活動や様子の写真を一覧にし、展覧会を開催した。	今後は地域住民も交えた活動を考えていきたい。
3	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	公認心理師3名を配置し、進学、就労を控えた思春期のお子さんへの支援を展開している。「心理教育」をテーマにした活動を展開している。	ソーシャルスキルトレーニングや認知行動療法などといったより専門的、実践的な取り組みを目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	通常級在籍や地域の習い事、児童クラブ等と並行利用している児も多いため、通所の際には安心・安全に過ごせるようあえて交流の場を設けていない。(特性への配慮)	状況やニーズに応じて対応していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型発達支援 そらぼし

公表日 年月日 令和8年 3月 27日

利用児童数 35人

回収数 9人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5				4	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8				1	一人っ子なので、兄弟支援については分かりません。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				いつも楽しく通っています。毎回色々なことをさせてもらって嬉しいです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				いつも子どもの居場所をつくっていただきありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				いつもありがとうございます。やすらぎの場所となっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型発達支援 そらぼし				公表日	2026 年 3 月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室が3つとブレイルームがあり、十分なスペースがあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準人員+2名 専門職を配置して運営しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		個室を用意し、必要に応じてパーテーション等で区切りを設けています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除を実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの状況に応じて、個室を活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所内での定期的なカンファレンスと、法人管理職との面談を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価結果を受けて改善に心がけています。面談内にてご意見やご意向を確認しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週、定期的な会議を実施しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		札幌市自閉症発達支援センターおがの機関支援を受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内研修は年間スケジュールを立てて、持ち回りで実施しています。スタッフが受けて研修を共有しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表済みです。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		必要に応じて知能検査（WISC、K-ABCⅡ）などを実施しています。	全ケースには実施出来ていません。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当スタッフのアセスメントと全スタッフによるカンファレンスを実施しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員内で原案を回覧し、修正しています。定期的なモニタリングを実施しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	心理検査、言語検査等を実施しています。	フォーマルな評価は全ケースには実施出来ていません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議内で話し合いを行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		週毎にスモールステップを意識した構成を行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		学年や特性に応じて個別-小集団を分けて実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で一日の流れを共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		定期的な活動や関わり方の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動記録、面談記録をとり、回覧にて共有しています。	業務内で終了しないこともあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年1回、年2回実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		学習-暮らし-仕事-余暇とスケジュールを決めて実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		各活動において、「自己選択」「自己決定」「自己調整」「自己表出」を促す関わりをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管、担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		支援者会議への参加や保育所等訪問支援を実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎サービスは実施していません。同法人事業所からの移行時には情報共有、引継ぎを実施しています。	学校、担任の先生への連絡を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		対象ケースはまだなく実施していません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	発達支援センターとの連携は取っています。地域支援のスーパーバイザーはいません。札幌市自閉症支援センターや大学と連携しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	利用児の特性に配慮し、積極的には交流は実施していません。自立支援部会（子ども部会）、児童デイの連絡協議会に参加しています。	ニーズを調査し、今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		療育に同席してもらったり、振り返りや面談時にお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者学習会、茶話会、参観日を実施しました。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、面談にお伝えし、事業所内に掲示しています。	変更時の説明や体制などの変更を今後、丁寧にお伝えしていきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		必要に応じてご本人との面談を実施しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		年1回ニーズの見直し、保護者様からの聞き取りを行っています。面談時に原案を提示し、説明を行っています。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		活動の振り返り時や面談時に実施しています。	知識の向上、伝え方の工夫を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者学習会、茶話会、参観日を実施しました。	今後も企画、実行をしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情解決マニュアルを制定しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回の通信の発行、HPへの掲載を行っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個室での面談、鍵付きの書庫にて書類を管理しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		タブレットを使用し、動画などの視覚的な媒体を利用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	積極的には行っていませんが、地域の商店や郵便局などへの買い物やお使いなどを行っています。	今後もイベントを企画していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年1回実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを作成し、研修に2度参加しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		フェイスシートを更新しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		フェイスシートを更新しています。おやつやクッキングの材料を保護者様に確認してもらっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		イベント時には事前にお伝えしています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		インシデント報告、ヒヤリハット報告で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内での研修や事業所外での研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		対象ケースがいなく具体的には実施していません。	必要に応じて関係機関との連携を図ったり、相談を行っています。	